

しおり



第二ことぶき園
デイサービス
センター
二〇一九年
秋 発行

朝晩の冷え込みも強くなり、寒い冬の訪れを感じる季節となりました。一日の中でも気温の変化が大きくなる日もあり体調を崩しやすい時期でもありますが皆様いかがお過ごしでしょうか。これからが冬本番となります。体調管理には気を付け、今冬を乗り越えたいですね。

ことぶき園の皆さんも大きく体調を崩される方もなく、お元気に過ごされています。冬になると外に出かける機会も減り、外気に当たる時間も減りますが少しでもその時間を設けたり、室内での活動の充実を図りたいと思っております。

利用者の方がことぶき園で過ごして「今日も楽しかったわ」と思っ



敬老会

9月19日には、「たんぽぽ」の方々による大正琴の演奏、20日には「神門うぐいす会」の方々によるマジックと歌を披露していただきました。いつも歌を歌われない方も一緒になって歌を歌われていました。

昼食は手作りの松花堂弁当でした。皆さんで乾杯しごちそうを頂きました。ふたを開けると「まあ、すご〜い」と驚きの表情と歓声がわきました。「こんなにごちそう食べきれ〜かいね」という声がたくさんありました。

午後からは、カラオケで自慢の歌声を披露していただきました。抹茶と羊羹をいただき、千本引きを楽しみました。「いい物もらった〜」と喜んでおられました。楽しい二日間となりました。



お彼岸
暑かった夏に終わりを告げて一か月、秋の彼岸がやってまいりました。彼岸、食に関するらば、春は「ぼたもち」秋は「おはぎ」になります。

園では、小豆をことごと煮、甘くなった餡を皆様の手でおはぎに仕上げ、全員の方に食べてもらえるよう、沢山作って頂きました。

「食する顔に笑顔あり」
食とは心を和ませる魔法ですね。

次回は春の「ぼたもち」です。又宜しくお願ひ致します。

大社 菊花展

今年も出雲大社の菊花展に出かけました。華巖の滝や出雲富士など、見事な細工された菊を関心して見ておられました。椅子に座って菊を見ていると大きな犬を連れてたご夫婦が来られました。犬の好きな方は触らせていただきました。警察犬になる犬と聞き「やっぱりお利口だねえ」と納得する皆さんでした。

神在月の出雲大社は参拝者の方がとても多く、神門通りも人で賑わっていました。「さすが出雲大社だわ」と車の後部座席の方から会話が聞こえてきました。



久奈子神社例大祭

毎年、十月十五日は、古志の氏神さんの祭りに出かけます。宮司さんの祝詞を聞きながら、一緒に手を合わせ、神戸川太鼓の演奏を間近で聞くことが出来ました。
お茶時には、祭りの屋台で買った、栗まんじゅうを食べられ、祭り行事を楽しみました。



山で食べるご飯は美味しいですね！

三瓶遠足

雲一つない秋晴れの中、お昼ご飯を持って三瓶山まで行ってきました。片道 40 分以上かかる遠出でしたが、車から見える景色に話が弾み、あっという間に西の原へ到着！

美しく紅葉した三瓶山を見ながら一緒にお昼をいただきました。「外で食べると美味しいね〜」「空気が違うけんだわね〜」といつもとは違う、空の下での昼食を楽しんでおられました。「何十年ぶりに来て楽しかったわー」「また、こげしていきたいわー」という声に、また、来年も紅葉の三瓶山を見に行きましょうねと話しながら帰路に着きました。



グリーンステップ展望台

秋晴れでとても暖かい日、上塩冶にひっそりとある展望台へ出掛けました。そこは、出雲斐川平野が一望でき「自分の実家はあの辺かなあ」「自分の家はこの辺だ」とお話しされたり、「今日はとっても気持ちがいいわ〜」と言われ、素晴らしい景色に俳句を詠まれた方もおられました。



避難訓練

園では年二回避難訓練を行っています。今回は消防署の方は来られなかったので、私たちだけで行いました。慣れておられる方もおられれば、初めての方もおられましたが、スムーズに避難出来ました。

避難した後に、消火訓練を行いました。職員手作りの的（火元）に向かってちゃんと放水されていました。



ことぶき畑 さつま芋

「今年はモグラの被害が少ない方だないかね」「よさげな芋だよ」芋づるを取り去った畑で話しながら収穫してくださいました。

芋づるは、そのまま刻んだり、一本ずつ皮をはいだりして芋づる煮へ！

さつま芋は、昼食のメニューやおやつへ変身して美味しくいただきました！



編集後記

今年も残りわずかとなりました。この一年、ご利用ありがとうございました。また来年も皆様と元気で会えますよう職員一同、笑顔でお待ちしております。

新しき施設のきれいな

ベランダに

皆で出てきて

行く雲を見る

十二月七日 詠み人知らず

ある日の出来事

皆さんが外出された後、残られた方で、テーブルを囲み「あんたは何ぼにならいかいね」との話から、誰もが同年代と分かり昔話で会話が弾みました。「今日は良かったわ」「また話さやね」とまるで女子会のようなでした。皆さん名残りおしんでおられました。



発行責任者 原 久美

